

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 5日

事業所名 放課後等デイサービスゆいまーる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	4	1	・たまに、人数が今までより一人多い時がある ・個室が欲しい	・相談室等も利用して対応していく。
	②	職員の配置数は適切である	4	6	1	・体調不良の時はともかく、 元々の人数に疑問がわく時がある。	・適切な人員配置を心掛けます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	5	3	・バリアフリーの配慮についての詳しい知識がない 自分に判断出来かねる ・現時点では必要性がない	・現状は利用者に対して特別な配慮が必要のない状況ではある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	6	2	・特になし ・非常勤職員に徹底しきれない	・日常のミーティングやスタッフ会議への参加の呼びかけ、共有事項を周知することにより、改善に向けた意見を広く求めていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	7		・年に一度は反映している	・スタッフ間で周知し、業務改善に向けての取り組みを行う。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2			・毎年HPで公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	8	2	・詳しく知らないので回答に困る。	・現在、第三者評価は行っていないが、運営に関するコンサルタントを受け業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2			・必要に応じて外部研修の受講を推奨し、スタッフ会議等で内部研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	2			・半年に一度の個別支援計画の面談でモニタリングを行い、適切な計画作成を心掛けている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	4	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	5	2		・カレンダー作りについてはチームを作って担当している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	5			・実施曜日を固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	7			・時間配分を考慮して、プログラム内容を検討している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	5	1		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	3			・活動前のミーティングで、当日の活動の流れや利用者情報、役割分担について確認している。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	7	2		・全員揃っての振り返りはできていないが、共有すべき事項については報告を行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	5			・サービス提供記録(連絡帳)、活動日誌へは、詳細に記録を残し保存してあるサービス提供記録を振り返ることで、利用者の支援の参考にしている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	5			・半年に一度、個別支援計画の面談を行い、中間評価で、計画の見直しの判断をしている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	6			
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	3			・主に児童発達支援管理責任者が参加しているが、必要に応じてその利用者をよく理解した支援員も参加する。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	3			・学校との情報共有は、保護者を通じて行う場合が多いが、直接学校と連絡を取り合うこともある。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	5		・医療的ケア児は利用していない ・医療ケアが必要な子どもを受け入れてない	・医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	6	3		・必要に応じて、相談支援専門員を通じて連携をとることもある。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	6	2	・現時点で該当していない	・現時点では事例がないが、要請に応じ対応していく。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	6	3		・放デイ連絡会への参加や研修等があれば、積極的に参加していく。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	4		・現状は交流の機会は特になが、公園等で一緒に遊ぶこともある。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	5	3	2		・事業所の代表者が、自立支援協議会の児童部会へ参加している。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	7	3			・サービス提供記録や送迎時の申し送り連絡を取り合い共有している。
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	4	2		・各保護者様に対応した支援を行っている。	
保	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	3			・契約時に説明している。 ・変更等があった場合は、その都度説明を行い周知している。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	2			・適宜対応し、必要であれば家庭訪問や個別面談を行っている。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5			・今年度より保護者会は再開している。 ・今後、保護者の交流を目的とした集まりも企画予定。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	3			・苦情対応については、迅速かつ適切に行っていく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2			・毎月、通信による情報発信をしている。 ・HPやInstagramでも情報発信をしている。
	③⑤	個人情報に十分注意している	9	1			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	2		・自治会に加入し、地域住民への配慮は行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	4			・令和6年4月より、HPでの公表と保護者様、スタッフへの周知と説明を行う予定。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1			・定期的な避難訓練、防災用品の点検を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2	1		・事業所内の虐待防止委員会が主体となり、定期的に内部研修を行う。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	4			・個別支援計画への記載を元に、やむを得ず身体拘束を行う場合の周知をしていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	5			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1			

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。